

2 大和ものがたり

月号

ASA大和西部
立野3-572-2
Tel: 563-7719

ASA大和東部
新堀1-1420-1
Tel: 565-0093

ASA大和中央
高木2-101-6
Tel: 561-3039

第5回東大和市

まちフォト

コンテスト

2月11日(出)に『第5回東大和市まちフォトコンテスト』の表彰式が行われました。

今回は「何も無いようにいっばいある」をテーマにたくさん応募がありました。また、新設された「こども写真家賞」には中学生以下のお子さんからも、大人顔負けのすばらしい作品の応募がありました。

そこで今回はコンテストの結果と入賞作品の一部をご紹介します。

コンテストの反響は?

反響は?

今回の応募作品点数は666点で、前回より97点増加し、過去最高の応募をいただきました。特に、今回は「こども写真家」新たに設けることを実行委員会が決定し、幅広い年代からの応募につながったのではないかと感じております。東大和の魅力である「自然」はもとより、「人物」や「イベント」等も市の魅力であると感じさせる作品を、写真を通じて感じていただければと思います。

賞の選出についての感想は?

賞については、1次審査を実行委員および協力団体が、2次審査に進む作品を選出し、2次審査は、実行委員および協賛団体からの推薦者が各賞・入選を選出いたしました。審査委員長には、前回に引き続きフリーカメラマンの寺島由里住さんを迎え、最終的に合計23作品が決定いたしました。以下は、審査委員長である寺島由里住さんの総評です。

『写真表現には大きく分けると2つあります。

最優秀賞を受賞された鈴木純也さん(右)



す。1つは記憶の断片としての記録写真、もう1つは人に想いを伝える写真です。その2つが巧く融合されることで写真表現の奥行きが出て、人々の感情を動かすことができるようになります。5回目にして感じたのは、今回応募写真の全体的なクオリティがとても高く、上記で述べた表現力の高さが目立つものが多かったのです。心の設計図である写真はたった1枚の写真から、様々な情報を得ることができ、心情を丁寧に込めたものも。また来年も素晴らしい写真に出会えることを審査員一同心から願っています。ご参加誠にありがとうございました。

東大和市にまだ見ぬ景色や出来事があり、わたしたちの中にきつと多く眠っていると思います。写真で切り撮ること、この街みんなの共通の宝物になるように、これからも探し続けていきたいと思っております。また来年も素晴らしい写真に出会えることを審査員一同心から願っています。ご参加誠にありがとうございました。



優秀賞 若人たち(川前 一さん)

優秀賞 天然のフラネタリアン(内野隆盛さん)

第5回東大和市まちフォトコンテスト「入賞及び入選者一覧」

賞	作品タイトル	選者
最優秀賞	平和をつなぐ	鈴木 純也 様
優秀賞	若人たち	川前 一 様
優秀賞	天然のフラネタリアン	内野 隆盛 様
カシオ賞	平和宣言	水戸 元雄 様
エプソン賞	あらしのあと	木下 元雄 様
多摩二ノ丸賞	静寂の森の夜	山田 功徳 様
ピッコロのつばき賞	松の夜	橋本 孝平 様
東大和市民工芸賞	なまめがらみ	水戸 元雄 様
東大和市民工芸賞特別賞	静寂の森の夜	山田 功徳 様
こども写真家賞	平和のプラチナタイム	山口 直生 様
こども写真家賞	あらしのあと	橋本 孝平 様
こども写真家賞	大空のつばき	水戸 元雄 様
高砂中学校賞	スーパースターズの長夜	松山 希 様
高砂中学校賞	青春の夜	入野 一輝 様
高砂中学校賞	まちフォトコンテスト	廣田 晋二 様
入選	静寂の森	長山 幸一 様
入選	静寂の森	池澤 裕高 様
入選	水の妖精が住む村	松平 智哉 様
入選	静寂の森	山田 功徳 様
入選	いっばい静寂の森	小畑 和子 様
入選	ムーネライト	小島 聖志 様
入選	東大和市民工芸賞「フラネタリアン」	山田 功徳 様
入選	シャボン玉の夢	小畑 和子 様



第5回まちフォトコンテスト特設サイト

フォトコンテスト展示会スケジュール

開催日	会場
2月28日(水)～3月4日(火)	多摩二ノ丸(常設展示)
3月5日(水)～11日(月)	郷土博物館(土曜)
3月17日(金)～24日(金)	東大和市民会館 ハミングホール(ラウンジ)
3月25日(土)～31日(金)	東大和市民会館1階 市民ホール

受賞者と関係者による記念撮影



2 大和ものがたり

月号

ASA大和西部
立野3-572-2
TEL: 563-7719

ASA大和東部
新堀1-1420-1
TEL: 565-0093

ASA大和中央
高木2-101-6
TEL: 561-3039

主催 東大和市災害ボランティアセンター協議会

体験してみませんか？ 災害時のボランティア

～平成28年度東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練～

災害時、復興にはボランティアの力が欠かせません。ボランティアを「必要とする人」と「したい人」をつなぐ場所、それが災害ボランティアセンターです。



助けられる人から助ける人へ！

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行います。災害時にどのようなボランティア活動ができるのか、体験してみませんか？

3月13日（月）午後1時30分より

（受付午後1時より）

会場 ハミングホール

エントランス、小ホール等（東大和市向原6-1）

定員
70名



【お願い】

- ◆動きやすい服装でご参加ください。飲み物は各自ご用意をお願いします。
- ◆ハミングホールからボランティア活動先（市内各所）には自転車又は徒歩での移動となります。



【申込み・問合せ】

東大和ボランティア・市民活動センター
（東大和市社会福祉協議会内）

TEL: 564-0035
FAX: 564-3680

3月8日㈪までにお申し込みください。

HPはこちらから！



ボランティアセンターの役割

災害ボランティアセンターは、まず「被災した市民のため」にあります。その上で、市内外のボランティアが一体となって復興という大きな目標に向かって力を合わせていきます。ボランティアセンターはその中核です。

編集後記

昨年の夏ごろに、眼鏡を購入し、写真を始めた社員がいる。きっかけは出不精を解消するため、出かける目的を考えた時に思いついたのが写真を撮ることだったそうだ。それから、草津・北

海道・沖縄へと出かけるようになり、心から旅行を楽しんでいるように見える。「ゲートブリッジ」の撮影に同行したが、撮影している姿は輝いていて、写真のすばらしさを感じることができた一瞬であった。

ASA大和中央 菅

3月5日(日)に都立東大和南公園で「東大和防災フェスタ2017」が行われます。当日は警察犬による捜索活動デモンストラーションや消防・防災体験コーナーなど、子供から大人まで幅広い世代で楽しめるイベントですので、ご参加お待ちしております。

【問合せ】
東大和市防災安全課
電話 563-2111
(内線1352)



東大和
防災フェスタ
2017

東大和市総務部より